

# 平成30年度 第一回学びの風推進協議会 議事要点

日 時：平成30年6月28日（木） 午後1時30分～3時  
会 場：内灘町役場3階 301会議室  
出 席：学びの風推進協議会委員（荒木会長・中新副会長・中西・橋本・河野・竹村・  
浅尾・桐山・東度）  
生涯学習課 中佐課長補佐、藤川

## 1.開会挨拶 荒木会長

## 2.新委員の紹介

平成30年度より委員二名の入れ替わりがありました。（新委員：大根布小 中西校長、内灘町スポーツ少年団本部長 中新氏）

## 3.「内灘町子ども読書感想文コンクール」実施について

本年度も町内小中学校 児童を対象に実施。

優秀賞16点・入賞32点を選出する予定、審査は9月下旬。

小学校低学年児童は自分で読書感想文を書くことがなかなか難しい。

二年前に学びの風推進協議会が考案し実施した「読書感想文の親子書き方講座」を再び実施できればよい。

## 4. 大根布小学校 児童考案による「うちなだ検定」について

(1) 平成26年度に学びの風推進協議会が作成した「うちなだ検定」の新版を大根布小学校三年生 児童が考案し、2月に完成させた。

「児童考案 うちなだ検定」を普及できないか。広報誌へ掲載、公民館へ設置。その他、竹村委員が在籍している内灘町観光案内所では、月100名ほどの観光者が出入りしている。パンフレットも兼ねて配布し、広く内灘町について知ってもらいたい。

(2) 他の町内小学校でも児童が検定問題にチャレンジすると、自分達も作成したいという気持ちになるのでは。

総合の時間は、各学校ごとに独自のカリキュラムで活動している。希望のあった学校・

学年には作成してもらおうということではいいのでは。

## 5. 「平成30年度 学びの風推進協議会による提言」についてまとめ

昨年度の学びの風推進協議会では、内灘町の自然の豊かさ、内灘町の良さ、そこに住む人々の素晴らしさに気づいてもらいたいという、自然をテーマにした意見がとても多かった。これを受けて親子向けの自然イベントを協議会主体で行ってはどうか。

「河北潟の生きものマップ」、河北潟周辺の草花を利用した「ハンカチ染め」など親子でできないか。

委員…親子で一緒に体験、親子で一緒に学ぶことが大切。子供だけが学ぶのではなく、親世代にも学んでもらいたい。

委員…内灘といえば海なので砂像づくりはどうか。近年は子供も海に行きたがらない傾向（危ない、砂が気持ち悪いなど）。海の気持ちよさ、楽しさを知ってもらおう。

委員…自然の分野だけではなく、親子で文化的体験をすることにより、礼儀を身につけてもらおう。親世代にもいま一度、礼儀を学んでもらいたい。

また、季節の草花、鳥の鳴き声などに関心を持ち、動植物を大切にする気持ちを養ってほしい。

委員…内灘の児童は、礼儀正しいので感心している。クツをそろえる、黙礼など。町の大人達が全体で子ども達を見守っているからではないか。

委員…「学び」は大人になってからも生涯続いていく。あらゆる年代・性別の方が集う「図書館」は学びの場として、とても重要な役割を持っているのではないか。「図書館」は行きたくなる、心が楽しくなる場所であってほしい。図書館の活用方法についても再考できるのではないか。

委員…「学び」とは老若男女がかかわり、ふれあいを持つことが大切。

## 6. 次回日程

次回日程は9月21日（金）／13時30分～

※9月下旬 「学びの風推進協議会による提言」を生涯学習推進本部へ提出予定

## 7. 閉会挨拶 荒木会長

以 上